

特集 新しい生活で悩んでいませんか？

「発達障害」による特性・特徴と上手に付き合うために

新学期・新生活を迎えるこの季節。生活環境が変わることで、さまざまな問題や困難に直面したり、養育者が育児の悩みを抱えたりすることがあります。もしかすると、それは発達障害によるものかもしれません。早い時期からの周囲の理解と、能力を伸ばすための必要な支援や環境の調整が大切です。

**発達障害とは？**

発達障害は、生まれつきみられる脳の働き方の違いにより、幼児のうちから行動面や情緒面に特徴がある状態です。子どもにも大人にもこれらの特徴を持つ人がいます。自閉症スペクトラム障害(アスペルガー症候群など)や注意欠如・多動性障害(ADHD)などが含まれます。

困っていませんか？  
発達障害には次のような特性・特徴がある人もいます。



～発達障害は障害の困難さが注目されがちですが、優れた能力が発揮される場合もあります～

**自閉症スペクトラム障害 Aさんの例**

急に予定が変わったり、知らない場所に行ったりすると不安になり動けなくなることがあります。周りの人が促すと余計に不安になり突然大きな声を出してしまうことがあります。でも、よく知っている場所では一生懸命に活動に取り組むことができます。

**注意欠如・多動性障害(ADHD) Bさんの例**

大事な仕事の予定を忘れたり、大切な書類を置き忘れたりすることがよくあります。周りの人にあきれられ、「何回言っても忘れてしまう人」と言われてしまいます。でも、気配りすることが得意で、困っている人がいれば誰よりも早く気づいて手助けすることができます。